

様式2(指定管理者施設)

指定管理者施設の管理運営状況評価(モニタリング)シート(平成22年度事業分)

1. 施設の概要

施設名	男女共同参画推進センター(富士)	所管課	県民生活・男女参画課
所在地	都留市中央3-9-3	設置年月日 (改築年月日等)	平成2年12月25日
管理方式	指定管理者((財)やまなし文化学習協会、平成21年4月1日～)		
設置根拠 (法律、条例等)	山梨県立男女共同参画推進センター設置及び管理条例		
設置目的	県民に男女共同参画に関する学習の機会と交流の場を提供し、もって男女共同参画の推進に資するため、男女共同参画推進センターを設置する。		
主な施設内容 (定員等)	託児室(45㎡)、交流コーナー(56㎡)、団体連絡室(50人)、視聴覚・音楽室(70人)、工芸・美術室(40人)、調理実習室(40人)、茶・華道室(40人)、レクリエーション室(140㎡)、大研修室(250人)、小研修室(45人)		
主な業務内容	(指定管理者が行う業務を記入する。) (1) 県民に男女共同参画に関する学習の機会と交流の場を提供するための事業の実施。 (2) 地域の住民に対する地域活動の場の提供。		

2. 類似施設・近隣施設

名称・施設内容・ 利用状況等	(1) 男女共同参画推進センター: 利用者数88,762人(総合)、11,477人(峡南) (2) 都留市ウグイスホール (3) 都留市民会館
-------------------	---

3. 利用状況

単位: 人、%

		平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度 (目標値)
利用者数	貸館利用者	35,417	40,553	42,931	
	事業参加者	9,121	7,062	7,899	
	利用者数合計	44,538	47,615	50,830	
	目標値		46,800	49,100	52,400
	目標値設定の考え方		前年度実績の5%増を目標とする。	前年度実績の3%増を目標とする。	前年度実績の3%増を目標とする。
	対20年度比	100.0%	106.9%	114.1%	117.7%
稼働率					

## 4. 収支状況

単位:円、%

		平成21年度 (実績値)	平成22年度 (計画値)	平成22年度 (実績値)	平成23年度 (計画値)
収入	施設利用料	2,925,880	2,477,000	3,306,570	3,240,000
	指定管理者委託料	37,825,620	38,043,000	38,480,168	38,482,000
	その他	1,087,802	956,000	4,609,332	3,605,000
	収入合計(A)	41,839,302	41,476,000	46,396,070	45,327,000
支出	人件費	21,743,494	20,598,000	24,408,591	24,892,000
	県への納付金				
	管理運営費	18,876,791	18,055,000	18,414,627	17,351,000
	(うち外部委託費)(B)	5,398,530	4,721,000	5,560,485	5,290,000
	支出合計(C)	40,620,285	38,653,000	42,823,218	42,243,000
収支差額(A-C)		1,219,017	2,823,000	3,572,852	3,084,000
外部委託比率(B÷C)		13.3%	12.2%	13.0%	12.5%
利用者一人当たりの経費		794	775	757	734

※直営の年度は、県の収支を記入し、指定管理者施設の年度は、指定管理者の収支を記入する。

※利用者1人当たりの経費の算定式

H19~20: (支出-収入)÷利用者数、H21~22: 指定管理者委託料÷利用者数

## 5. 利用者満足度

実施方法等	実施時期:平成22年4月~23年3月、実施方法:事業参加者・貸館利用者へのアンケート、回答数 管理運営:549人 企画事業:874人
-------	--

単位:%

調査項目	満足・十分	普通・ どちらでもない	不満足・ 不十分	不明・ わからない
①施設・設備の充実	68.7%	24.0%	5.1%	2.2%
②施設・設備の整備	79.2%	16.8%	2.0%	2.0%
③サービス	64.5%	30.8%	1.4%	3.3%
④施設全体	58.3%	38.4%	0.6%	2.7%
⑤事業	87.8%	11.2%	1.0%	0.0%
全体(総サンプル数から算出)	73.4%	22.9%	1.9%	1.8%

※調査項目は、施設ごとに適宜変更する。

利用者の意見	<ul style="list-style-type: none"> <li>・駐車場が狭い。</li> <li>・マイクの音が聴き取りにくい。</li> <li>・清掃が行き届いていてとても気持ちが良い。</li> <li>・いつも気持ちよく利用している。</li> </ul>
利用者の意見への対応	<ul style="list-style-type: none"> <li>・施設で協会に出来るものについては、順次対応していきたい。</li> <li>・施設の備品等については、県と協議して対応をしていきたい。</li> <li>・今後も利用者に快適に過ごしていただくよう対応したい。</li> </ul>

6. 評価結果

	指定管理者の自己評価	施設所管課の評価
維持管理業務	法令、業務仕様書等に基づき、適正に業務を執行した。	業務仕様書、業務計画書どおり適正に実施されている。
運営業務	条例及び協定に基づき適正に業務を執行した。	事業報告書及び現地確認の結果、適正に実施されている。 今後も創意工夫を凝らし、利用者の増加やサービスの向上のために努力されたい。
企画事業	提案及び協定等に基づき適正に業務を執行した。	計画どおり適正に実施されている。 利用者ニーズを反映した時宜を得たテーマ設定に努めること。
利用状況	利用者数については、開館日の増加、ポイントカードの導入等により昨年度同様に増加を図った。	利用者は、前年度よりも増加し、目標にも達している。 利用者の増加が図られるよう引き続きPR活動等により、施設の稼働率の向上と受講者確保に努力すること。
収支状況	経費の節減に努めたが、光熱水費については、夏場の猛暑の影響で、電気使用料が増加した。	経費節減に努めている。光熱費については、利用者の理解を得ながら節減の努力を続けること。なお、経費節減のあまり、維持管理やサービス低下を招くことがないよう留意すること。また、事業経費への充当も検討されたい。
利用者満足度	利用者の満足度は、平均7割以上が満足ということであった。今後も利用者のアンケートをもとに、施設の適切な管理・運営に努めたい。	利用者アンケートの結果は月毎に報告された。県民ニーズの把握に努め、管理運営に反映させるよう指導した。運営上の工夫で解決可能な利用者意見については速やかな対応がなされた。
運営目標の達成状況	総利用者数(50,830人)は目標総利用者数(49,100人)を上回っており、目標を達成している。 3月の震災の影響があったものの、貸館利用者も順調に増えている。	
施設所管課による総合的な評価及び指導事項	運営業務・施設管理・各種事業等について、基本協定・提案等に基づき概ね適正に履行された。県民ニーズの把握や利用者サービスの向上に努めている。 平成23年度はより一層県民に関心が高く、時宜を得たテーマ設定に努め事業の効果的な実施を図る中で一層の利用者増加に取り組むとともに、効率的な管理運営と県民へのサービス向上に努めること。 また、HP等を活用し、センターやセンター事業の周知に努めること。	
施設所管課の指導事項に対する指定管理者の対応状況	平成22年度同様に利用者増加に取り組み、サービスの向上に努める。	

7. 管理体制(組織図)

